

北海道百年記念塔を取り巻く現在の状況

- 道では、平成30年12月に「ほっかいどう歴史・文化・自然『体感』交流空間構想」を公表し、この中で、百年記念塔については、老朽化の進行などから解体もやむを得ないと判断。
- 公表後、塔の存続を求める方々から道に対して、次のとおり署名や公開質問状の提出があったところ。

北海道百年記念塔を守る会

- 平成31年2月 記念塔の存続を求める署名（6, 166筆）の提出
- 令和2年6月 「守る会」による記念塔の視察
…老朽化の現状を理解していただくため、普段は立入ができない塔の内部を公開

北海道百年記念塔の未来を考える会（建築家などの有志で構成）

- 令和元年12月 公開質問状の提出

【質問要旨】

- ・記念塔を解体する具体的根拠及び事業を拙速に進める理由
- ・建設時の寄付者への説明
- ・記念塔が崩壊の危機にある技術的根拠
- ・道内各地の歴史的・文化的に価値のある建造物が拙速に解体されないか懸念

【回答要旨】

- ・民間事業者への委託調査や有識者からの意見を踏まえ、解体もやむを得ないと判断
- ・平成28年から有識者懇談会による検討を開始し、道民ワークショップの開催、専門家ヒアリングなどを踏まえ検討し、パブコメや議会議論を経た上で、構想を決定
- ・北海道市長会や町村会、地元自治体、町内会役員に説明した他、道HPやパブコメ等を通じて周知

- 令和2年6月 公開質問状（要望と提案）の提出

【質問要旨】

- ・百年記念塔の拙速な解体に抗議
- ・記念塔をモニュメントと位置付け、継続利用を要望
- ・継続利用に伴い、アイヌ、和人、全ての先人への敬意を払うため、記念塔を「北海道大地の塔」へ改名することを提案

【回答要旨】

- ・民間事業者への委託調査や専門家ヒアリングの結果、建設当初に想定し得なかった構造上の課題が指摘された
- ・道では、これまでに大規模改修を含め、約8億円をかけて維持修繕を行ってきたところ
- ・記念塔を存続させ、今後とも維持管理を行う場合には、定期的な保守管理に加えて、大規模改修に要する費用がかかる

- 令和2年6月 「考える会」による記念塔の視察
…老朽化の現状を理解していただくため、普段は立入ができない塔の内部を公開